

# 2010秋季闘争

# 年末一時金の早期決着をめざそう!



Sグループ会議でヤマ場に向けて意思統一しました

「Sグループ会議」に、会議の開催にあたり、闘争のとりくみになるは、全国から19組合、紙近藤議長(愛媛製紙)は、集中決着日には必ずパ連合本部を含めて全体「紙パ産業は紙・板紙の交渉を持ち情報交換を密で28名が参加し、今後の国内出荷が昨年を上回っ交渉に向けて意思統一をたもの、また厳しい状況が続いている。このようなかでの2010秋季

を回復させるためには消費意欲を喚起させ内需拡大につなげる必要がある。そのことから、今秋の闘争では、スクラムを組んで要求を勝ち取り、消費意欲を向上させてデフレの解消、景気回復につなげるために粘り強く頑張ろう」と訴えま

## 決着日に向け意思統一する

地本名	要求		提出日	回答		回答日	2010夏	2009冬
	金額(円)	月数		金額(円)	月数		妥結(円)	妥結(円)
<b>【Hグループ】</b>								
巴川製紙所		2.50	10/27	580,000	1.83	11/4 *	450,000	380,000
リテックホールズ	750,000	2.675	10/19	750,000	2.675	11/4 *	670,000	630,000
ニッポン高度紙	業績運動			業績運動			業績運動	業績運動
<b>【北海道地本】</b>								
北海道運搬機	650,000	(3.29)	10/22	513,769	2.56	11/24 *		493,534
<b>【東北地本】</b>								
大昭和ユニボード	(650,000)	2.6	10/26	500,000	1.97	11/5 *	400,000	40万+10万
<b>【東海地本】</b>								
中津川包装工業	620,000		10/22	620,000		11/18 *	570,000	530,000
<b>【北陸地本】</b>								
チューエツ	560,897	2.5	10/15	40万+2万		11/4 *	40万+2万	380,000
中川製紙	720,000	2.97	10/15	488,500		11/23 *	405,000	480,000
加賀製紙	720,000	(3.51)	10/15	460,000	2.24	11/22 *	460,000	470,000
ショウワノート		2.5	10/15	(597,780)	2.5	10/27 *	2.5ヵ月	2.5ヵ月
<b>【関西地本】</b>								
大阪製紙	690,000	(2.5)	10/15	550,000	1.99	11/24 *	610,000	590,000
大津板紙	720,000	(2.87)	10/15	625,000	2.49	11/4 *	625,000	610,000
美鈴紙業	(588,502)	2.5	10/15	530,000	2.25	11/4 *	520,000	500,000
日本包装容器				383,189	1.80	11/17 *	429,503	445,688
協和工機		2.5	10/15	402,000		11/4 *	406,000	402,000
大阪正芳	制度運用			制度運用			制度運用	制度運用
美鈴運輸	制度運用			制度運用			制度運用	制度運用
<b>【中国地本】</b>								
三洋製紙	年間5ヵ月			524,101	2.13	11/16 *	524,101	523,000
<b>【四国地本】</b>								
愛媛製紙	年間1,400,000				2.4	11/11 *	2.4ヵ月	2.4ヵ月
三木特種製紙	670,000	(2.9)	10/29	575,000	2.5	11/18 *	560,000	545,000
<b>(紙パ愛媛地区)</b>								
金柳製紙	660,000	(2.55)	10/18	485,000	1.87	11/15 *	480,000	478,000
愛媛パルプ	660,000	(3.02)	10/12	440,000	2.02	11/5 *	440,000	440,000

\*単位:円、回答日欄の\*印は妥結または妥結方向

## 共闘を強化しよう Sグループ会議開く

2010秋季闘争は、集中決着日に設定した11月4日から3週間が経過した中で、年末一時金交渉にとりくむ44組合のうち11月25日現在、19組合が回答を引き出しています。現在までの回答状況を見ると、企業業績にはらつきはあるものの、共闘機能が発揮され、10月30日に開催したSグループ会議で、ヤマ場にむけた意思統一として確認した内容に沿って交渉が進められています。

「Sグループ会議」に、会議の開催にあたり、闘争のとりくみになるは、全国から19組合、紙近藤議長(愛媛製紙)は、集中決着日には必ずパ連合本部を含めて全体「紙パ産業は紙・板紙の交渉を持ち情報交換を密で28名が参加し、今後の国内出荷が昨年を上回っ交渉に向けて意思統一をたもの、また厳しい状況が続いている。このようなかでの2010秋季

## 2011春季生活闘争 連合・中央討論集会ひらく



2011春季生活闘争にむけあいさつする古賀会長

「全労働者の適正な配分を追求する」

連合は、11月1日から連合会等から約500名が参加する中で、「2011春季生活闘争」をめぐり、川区「ホテルラングウツド」にて、2011春季生活闘争中央討論集会を開催し、構成組織・地方冒頭、古賀会長の挨拶

では「日本経済・社会の閉塞感を打破し、希望と安心の社会作りのために、もデフレからの脱却を図らなければならない。そのため、低下を続ける賃金の復元を目指し、内需拡大を図っていく必要がある。今一度、春季生活闘争の社会的意義を明らかにし、2011春季生活闘争を「すべての働く者の処遇改善」に向けた2年目の闘いと位置づけ、マクロの視点からすべての労働組合ですべての働く者の労働条件引き上げのために、適正な成果配分を追求する闘いをすすめる事が重要である。多岐にわたる課題に取り組みなければならないが、個別労使の論理の

みでなく社会的な意義にも着目した論議を積み重ね、果敢に闘って頂きたい。労働運動が果たすべき役割と責任は極めて大きく重いことを、労働運動に携わる者全員が肝に銘じ、果敢にチャレンジしていく必要がある」と呼びかけました。

富士通総研エグゼクティブ・フェロー根津利三郎氏から「不可欠な賃金引上げ・成長戦略実現にむけて」と題して基調講演、日本総研主任研究員山田久氏から「雇用をめぐる現状と新たな労働市場に向けたビジョン」について基調講演の後、南雲事務局長から2011春季生活闘争では、「労働条件の復元、格差の是正を図ること」「すべての労働者の処遇改善にむけた2年目の闘いと位置づけ、労働条件の復元・格差是正の観点から適正な成果配分を追求する闘争を展開し、運動の社会的意義を追求する」「共闘連合会議の更なる充実・強化」「運動の両輪としての政策制度の取り組み」等を中心とする「基本構想」を提起し、3つの分散に別れ意見交換を行い、全体討論へと繋げ理解を深めました。

連合は、この討論集会の議論を踏まえてさらに討議を重ね、12月2日に開催される第59回中央委員会でも闘争方針を決定する予定になっています。

専門委員各会

運動の活性化に向けて！

具体的な取り組みを論議する

報告「労働講座」は  
教育委員 広報に力点を

10月20日、紙パ連合本部会議室に於いて、第1回教育広報委員会を開催しました。

冒頭、自念副委員長より「教育広報については、ここ数年の間、教育を中心に活動をしていると感じている。他産別におかれても広報がないがしろになっていないか」と話した。



来年4月に開催するセミナーについて多くの意見が出されました

10月26日、紙パ連合本部会議室に於いて、第1回労働政策委員会を開催しました。

策会 11春闘要求案  
労働委員 検討はじまる

10月26日、紙パ連合本部会議室に於いて、第1回労働政策委員会を開催しました。

11月9日、紙パ連合本部会議室に於いて、第1回青年女性委員会を開催しました。

女性青年委員 平和学習は  
青委 沖縄で開催



青女の活性化に向け幅広い企画内容を検討しました



2011春闘に向けて論議しました

11月25日、第2回労働政策委員会にて検討していき、産別としての要求基準であることを念頭に各組合の考え方をまとめることと確認した。

（11月25日、第2回労働政策委員会）で検討していき、産別としての要求基準であることを念頭に各組合の考え方をまとめることと確認した。

その後は、役員交代に伴い、新役員名簿の配布と第11回青年女性海外研修（開催時期：2011年）の方向を確認しました。

お詫びと訂正  
機関紙「紙パ連合・No.517、No.518」に、誤植がありましたので、ここに訂正しお詫び申し上げます。

募集 第82回メーデー・ポスター図案  
＜入選＞最優秀賞1点(20万円)、優秀賞3点(各10万円)  
2011年1月7日(金)  
応募方法  
①対象 第一 連合組合員とその家族および退職者  
②応募イメージ ①すべての労働者の連帯で、働くことを軸とする希望と安心の社会の構築。②非正規労働者の労働条件の底上げと組織化。③労働のセーフティネットの拡充とワークルールの確立。④男女平等・均等待遇の実現。  
③用紙 統一 B4サイズ・タテ、カラー・1人1点  
④記載事項 用紙の裏面に氏名、自宅住所・電話番号、所属労働組合・電話番号、上部団体名、地方連合会名を記入のこと。記載事項もれは不可。  
⑤送り先 (郵送または宅配)  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11  
連合連帯活動局 宛付  
第82回メーデー中央実行委員会  
TEL 03-5295-0513 rental@sv.rengo-net.or.jp